

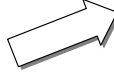
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-10-09
事務事業名	排水設備検査事務	根拠法令・要綱等	下水道法 備前市公共下水道条例
事業開始年度	昭和57年～	担当課(室)	下水道課
大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり	職・氏名	維持管理係長 藤森 亨
中項目	生活しやすいまちづくり	電話	0869-66-9702
小項目	施策		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	下水道、農業集落排水施設及び漁業集落排水施設並びに個別排水処理施設に接続して汚水进行处理しようとする人。
目的(何のために)	適正な施工方法・維持管理方法の徹底により安心して使用できる排水設備とし、また下水本管や処理場のトラブルを防ぎ施設の維持管理費の増加を防ぐ。
行政活動(どのような方法で)	排水設備工事申請書の施工方法等書類により審査し、基準に適合の場合は工事許可書を発行。工事終了後、提出された排水設備完工届の書類と設置場所での現地検査を行う。現地検査後、使用者に排水設備の使用・維持管理方法を説明する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	適正な施工方法や維持管理方法の徹底により安心して使用できる排水設備とし、また、下水本管や処理場のトラブルを回避し維持管理費の増加を防ぐ。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
排水設備検査件数	件	335	318	246
排水設備不適合件数	件	13	10	8
活動実績				
事業費				
直接事業費	千円	0	0	0
人件費		7,875	6,600	3,123
事業費計		7,875	6,600	3,123
財源				
国県支出金	千円	0	0	0
受益者負担		0	0	0
市一般財源		0	0	0
必要人員	人	1.20	1.05	0.45
結果指標				
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
排水設備検査件数	件	335	318	246
結果指標量	件	335	318	246
対前年比	%	-	94.9%	77.4%
活動コスト	円	7,875,000	6,600,000	3,123,000
単位当たりコスト	円	23,507	20,755	12,695
結果指標				
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
排水設備不適合件数	件	13	10	8
結果指標量	件	13	10	8
対前年比	%	-	76.9%	80.0%
活動コスト	円	-	-	-
単位当たりコスト	円	-	-	-

事業の成果			
成果指標名	完工検査改修率	式又は説明	設置基準不適合件数÷排水設備完工数×100
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	3.88	3.14	3.25
対前年比		80.93%	103.50%
到達目標値	0	到達目標年度	平成21年度



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	適切な施工方法や維持管理方法の徹底は排水設備を管理していくうえで必要なものであり目的は妥当である。	
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
行政活動	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	効率的性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		課題認識
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	新しい排水設備基準の作成、設備業者に販売すること、排水設備検査を週1日にまとめること、また、実測により業務量を算定したこと、検査、指導にかかる人件費が削減できた。	
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		課題認識
市の関与	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が妥当でない	下水道協会岡山県支部と連携し責任技術者(排水設備工事施工業者)の技術レベルの向上と排水設備基準の周知を図る必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		課題認識
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	成果指標	300
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		結果指標量
職	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	結果指標量	1.67
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		結果指標量
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	結果指標量	1.67
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		結果指標量
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	結果指標量	1.67
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		結果指標量
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	結果指標量	1.67
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		結果指標量

平成20年度の状況		説明	前年度と同様、適正な排水設備の施工方法と維持管理方法を徹底している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	300	結果指標量	5
成果指標量	1.67	結果指標量	1.67

総合評価		評価区分<A~E>	B
今後も継続して、下水道協会岡山県支部と連携し責任技術者の技術レベルの向上と排水設備設置基準の周知を図る一方で、各接続者にも維持管理方法の周知を図る必要がある。			

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	責任技術者の技術向上と設置基準の周知及び接続者への維持管理方法の周知	H20-	安心して使用できる排水設備